

活動報告書
子ども体験教室 パイオニアコース
第5回 スノーチャレンジ 極寒の雪洞泊

実施日時: 2019年1月5日(土)-7日(月)
会場: 国立妙高青少年自然の家(新潟県妙高市)

<活動のねらい>

- 今あるスキルを駆使し、快適なスノーキャンプを仲間と共に創る。
- 雪の特性を知り、道具を上手に使いチームで泊まれる雪洞を作る。

<プログラムの構成要素>

- 知識、スキルを活用する力 ★★★
- 自分の可能性に気づく力 ★★
- どんな状況でも前向きに挑む力 ★★★



妙高に到着し、まずは遊び方のレクチャーからスタート。豪雪の中を進むのは一苦勞でしたが、そりで滑ったり、雪を掘ったり、思い思いに遊びました。夜のミーティングは雪洞のつくり方を説明し、設計図づくりです。



まずは雪を踏み固め、寝そべって広さの確認。そこに雪山を作り、穴を掘っていきます。苦戦するチームもありましたが、やっとの思いで貫通すると「つながった！」と大喜び。穴を広げて寝るスペースを確保します。



いよいよ雪洞泊本番。眠る準備を整え、雪洞に潜り込みます。気温はマイナス3度。雪洞の中ではみんなそわそわしていましたが「おやすみなさい！」の後はすぐに就寝。朝まで眠ることはできるかな？



朝起こしに雪洞にいくと、みんな元気に生還。寝てみた感想を聞いてみると「よく眠れた」「寒かった」など色々な声が聞かれました。



帰る前のそり遊びでは、ジャンプ台などをスキルを駆使して作り、チームで話し合いをして進める様子がみられました。今回の活動では、一つの成果に向けてチームの中で役割分担をして取り組みました。自分のできることを全うすることがチームの力になります。ファイナルチャレンジでも、今回のチームワークをいかして歩ききることを期待しています。